

社協のマーク



社会福祉協議会

尾崎支部だより

No.42

平成21年1月15日発行

各務原市社会福祉協議会

尾崎支部広報委員会

新春所感

新年明けましておめでとうござ
います。
社会福祉協議会には、いつもご理
解とご協力を頂きありがとうございます
です。

私達の住む尾崎地区でも少子高
齢化が進み、老人世帯が増え、生活
や身体の介護を必要とする方々や、
一人暮らしをしている方々、また若
い夫婦だけの核家族で子育てに悩
まれるお母さん等、あらゆる人達が
地域で生活しております。

そんな人達が声を掛け合い、語り
合い、助け合い、励ましあいながら
安心して暮らせる尾崎地区を願っ
ております。その為にも、社会福祉
協議会尾崎支部では、いろいろな行
事を計画し、地域の皆様に参加し
ていただき実施しております。

「地域介護予防講習会」「健康つ
くり教室」「脳の健康講習会」「歳
末地域福祉座談会」等の開催、又「お
さき敬老の集い」(尾崎自治会連合
会と共催)等、各種団体との共催行
事に参画し、地域の皆様のふれあい
の機会になることを願っています。
(福祉推進員 尾方正之)

謹んで新春のお慶びを申し上げ
ます。
昨今、少子高齢化が叫ばれて久
しいが、今では例を見ないスピード
で進行しています。

これまで安心システムとして機
能してきた家族内の助け合い、企業
の支え等もこれまでのような支え
は期待できなくなっています。
こうした中、私たち民生児童委
員は微力ではありますが、この地域
のこうした環境の方々に少しでも
お役に立てれば、と努力しておりま
す。

どんなお悩みでも結構です。
一人で悩まないで相談下さい。
あなたのお住まいの近くに民生
児童委員はおります。

尾崎社協、自治会、各種関係機関
とも連携し合い信頼を深めていき
たいと思っております。
どうか、本年もよろしくお願い致
します。
(副支部長 民生児童委員
有我 尉)

『安心して暮らせる年！』

社協尾崎支部長

鳥居甚吾

明けましておめでとござ
ります。
新しい年が、皆々にとつ
て良い年になることをお祈
りいたします。

旧年中は、明るくニュー
スが少なかったように思いま
す。
世界的な金融危機に伴
う経済不況、リストラ、国民
不在の混迷の政治、無差別
殺傷事件、食品偽装、不明
朗な年金・医療制度、振り込
め詐欺など、私たちには不
安な話題が心に残っており
ます。

私たち庶民は、平凡でも
よいから、何よりも人間ら
しく安心して暮らせる生活
が保障される社会が欲しい
のではないのでしょうか。
今年はいろいろな選挙が
あるといわれております
で、そんな社会を構築して

くれるリーダーを選びたい
ものです。
それと同時に、私たちも
他に求めるだけでなく、我
慢すべきは我慢し、出来る
ことは自分ですることも必
要かと思えます。

最近の尾崎地区も、高齢
化は確実に進んでおります。
周りには一人暮らしや高
齢者世帯がどんどん増え
ています。
お互いに元気なうちはよ
いが、シングル介護や老老
介護が必要になった時、また、
将来大地震などの災害時
には、どのようにするかを
考えると、不安になります。

そのためには、平素から
触れ合いを大切に、地域
ぐるみで助け合って、より安
心して暮らせる年になるこ
とを年頭にあって願いま
す。

「共催事業活動から」

副支部長 中島正男

社協の共催事業活動については第四十号でお知らせしまし
たが、尾崎自治会連合会等と共催の十月十二日快晴のもと開催され
ました「おさきフェスティバル2008」についてお知らせします。
社協の役割は、接待・救護・賞品、朝市を担当しましたが、その一部に
ついてご紹介いたします。

- ・救護 開催中の万二の事故に備え、医療経験者二名のご協力を得
て、応急措置・病院への搬送と待機しましたが、幸い事故も発生
せず出番もなくほっとしました。
- ・賞品 参加者への景品、競技出場者への賞品等について品目・数
量の決定、業者の選定、折衝、納品、管理と苦労しました。引き換
え作業は役員全員であたり、トラブルもなく無事終了しました。
- ・朝市 JA傘下の農家5名の出店を得てオープンしましたが、
朝取りの新鮮な野菜とあって好評で午前十一時にはほぼ完売であ
りました。



接待班の民生・児童委員の皆さん



救護班の看護師の皆さん

『尾崎地区に於ける町内別の 年少率及び高齢化率』

(平成20年10月1日現在)

	総人口	14歳以下	年少率(%)	65歳以上	高齢化率(%)
那加柄山町	387	92	23.8	25	6.5
那加北洞町	396	54	13.6	90	22.7
尾崎西町	3,055	887	29.0	242	7.9
尾崎南町	1,318	111	8.4	373	28.3
尾崎北町	1,630	158	9.7	415	25.5
計	6,786	1,302	19.2	1,145	16.9

注・那加北洞町(北洞町1~2、山崎町、東野町1~2)

(事務局長 宇井 進)

「夢のある 明るいまちは 福祉から」

「夢のある 明るいまちは 福祉から」

近隣どうしの支え合い

12月7日(日)の「歳末地域福祉座談会」から

本年度の「歳末地域福祉座談会」は例年より多い総勢百二十名余りの参加で、高齢者に加え、母子世帯や障がいのある方の参加もあり、幅広い構成で実施することができました。

今年のアトラクションは「あったかコンサート」として、三人の若い女性演奏家による懐かしい曲、思い出の曲が優美に楽しく演奏され、ほのぼのとした、暖かい気分になることができました。

座談会では、「尾崎里山の緑」の維持、ボランティア・ハウス「コスモスの里」の継続、近隣ケア・グループの組織作り、ゴミ収集のルール違反、振込詐欺防止など和气あいあいの中にも気概に満ちた話し合いが友好的にもたれました。

日頃から、近隣どうしが交流し、支え合える町づくりが大切であることを痛感した座談会でした。

(啓発委員長 酒向 幸紀)



“懐かしい曲、思い出の曲”を堪能する参加者



“あったかコンサート”の女性演奏家の皆さん



“尾崎里山の緑”の維持を呼びかける今山さん



“コスモスの里”の継続を呼びかける新村さん

「夢のある 明るいまちは 福祉から」

若さの維持・向上をめざして

十一月十五日(土)の「脳の健康」講演会から

本年度も岐阜大学大学院医学系研究科、藤田雅文先生を講師として、第二回「脳の健康」講演会を実施しました。

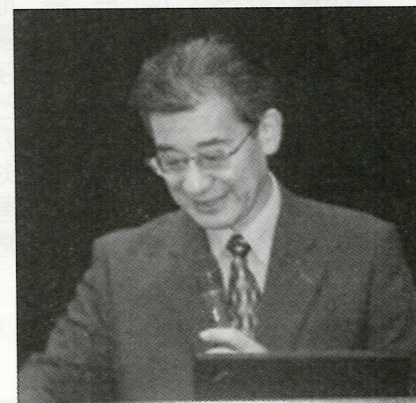
先生の研究は今まで、NHKや各新聞にも取り上げられて注目されているところですが、本年度は、蘇原第二小学校で児童と大人も参加して実施されている「朝の脳トレ」訓練の話や、(株)ニコンと共同開発された美しい写真が提供され進化した研修会内容でした。

脳は感動することによって刺激を受けます。

しっかりと対象を見て、聞いて、記憶したことを、しっかりと判断し、表現していくという脳内ネットワーク(脳細胞の繋がり)を多彩に働かす中で脳が活性化されていくということです。

日頃、何事にも、「しっかりと」を、基調とした生活をすることが、若さの維持、向上を促すことになるのだという先生の言葉が強く心に残った講演会でした。

(啓発委員長 酒向 幸紀)



▲講師の藤田雅文先生

◀“しっかりと”聴講する参加者

第二回 高齢者健康づくり教室

十一月二十日(木)の午後、尾崎中央ふれあい会館で、高齢者向けの「第二回健康づくり教室」を開催しました。

講師は「笑涯楽習クラブ」代表の、鹿島昌幸先生で、そのご指導のもと、楽しい雰囲気の中で、手軽にできる健康法を習い、生きがいを見つけようというものでした。

大変寒い日でしたが、五十六名の方が参加され、先生と生徒というより対等の立場にしながら一緒に考え、楽しく遊びました。

そして、そのゲームや歌に合わせて体を動かす中に必要な運動が含まれており、かつ頭の体操ができるという仕掛けになっておりました。

お互いに「大笑いをし、大声を発し、また心が温かくなること」の連続で、あつという間の九十分間で、とても健康的な時間を過ごし、快い疲労感を覚えながら帰りました。

(ふれあい委員長 水野 忠義)

「夢のある 明るいまちは 福祉から」